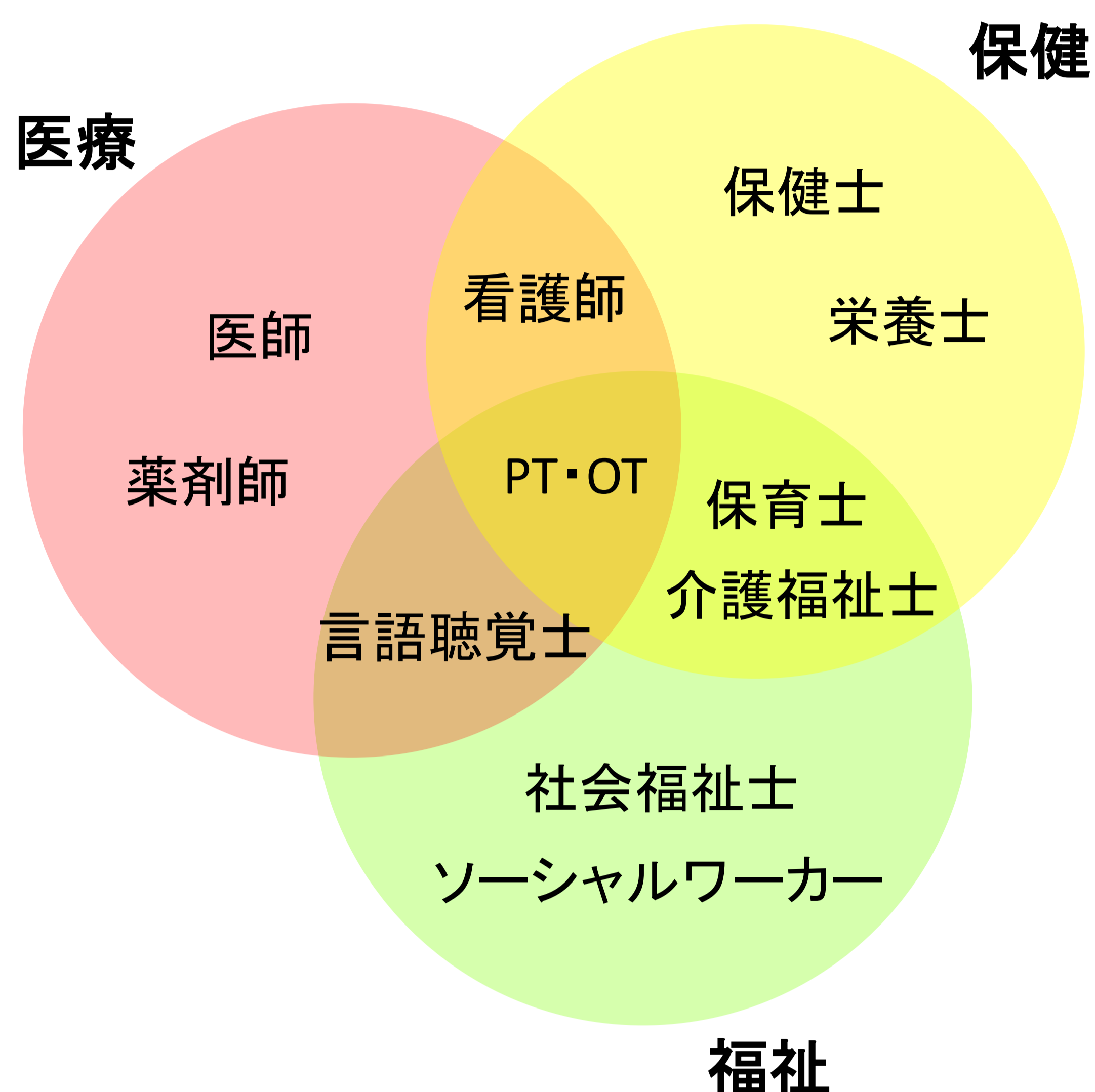


医療職の連携によるチーム医療の理解

グループ8 磯部彩 小田原敦子 税所篤志 田島隆弘 中嶋俊輔 日高薫 森本俊規

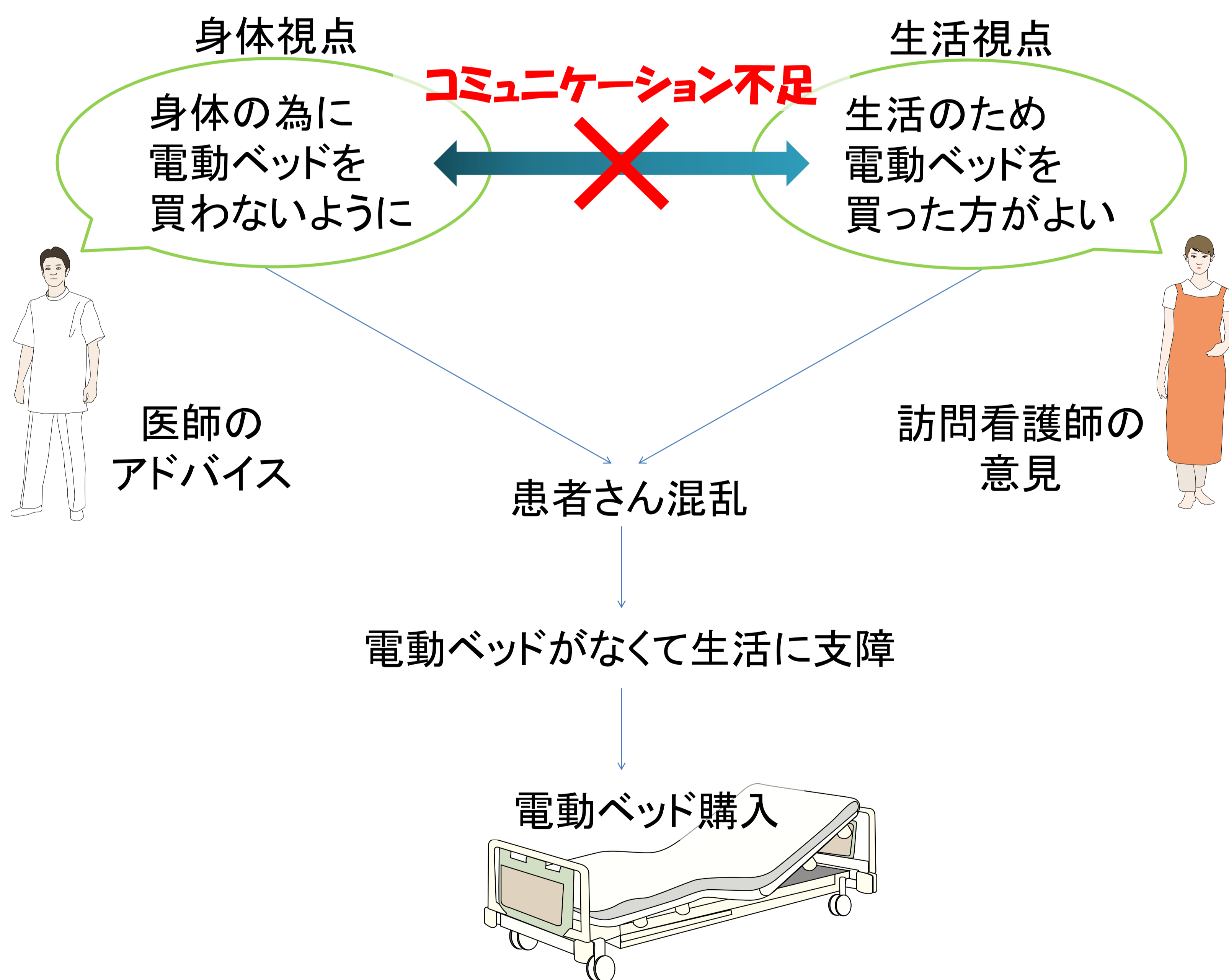
チーム医療の目的

それぞれの専門性を活かし、
一丸となって患者さんの「身体」健康と「精神」健康を守る

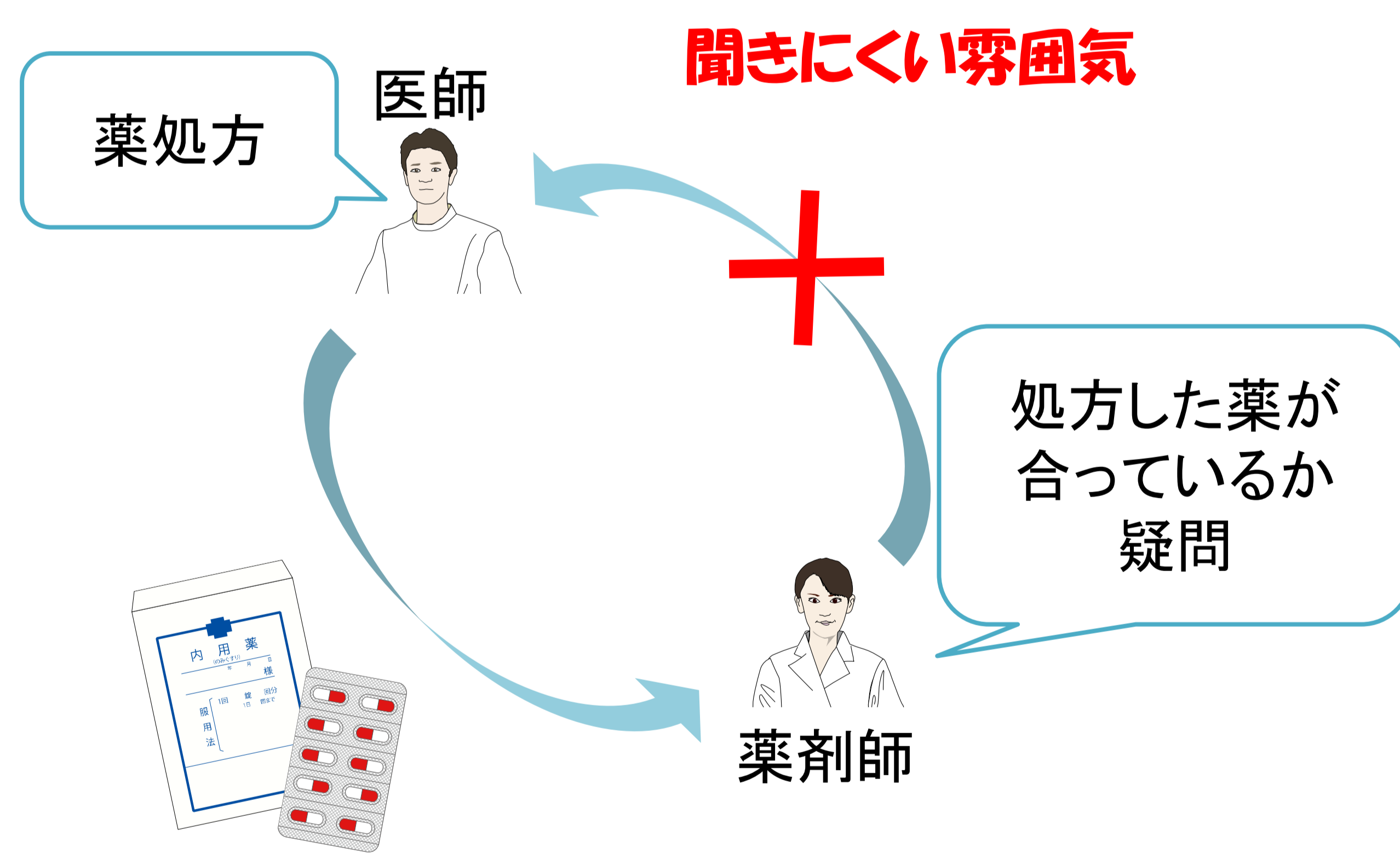


医師	医療及び保健指導を司る
薬剤師	調剤、医薬品の供給その他薬事衛生を司る
看護師	医師の補助や患者の援助を行う
理学療法士	基本動作能力の回復を目的に運動療法と物理療法を行う
作業療法士	日常生活を構成する作業に参加できるようにする
保健士	地域活動や健康教育・保健指導などを通じて疫病の予防や健康増進などの厚生衛生活動を行う
栄養士	栄養の指導に従事することを業とする
保育士	子供の保育を行う
介護福祉士	身体上又は精神上の障害がある者に介護を行い、指導を行う
社会福祉士	身体上又は精神上の障害があることまたは環境上の理由により日常生活を行うのに支障があるものの相談に応じ助言、指導、福祉サービスを提供する
ソーシャルワーカー	社会福祉士を基に社会的支援の必要な人・環境に働きかける
言語聴覚士	音声・言語機能又は聴覚に障害のある者に訓練や指導を行う

問題例(訪問看護の例)



問題例(薬剤師の例)



問題点

- 医療職間で.....
 - 意思疎通できていない
 - 支え合っていない
 - 誰がチームにいるか把握しきれていない
- 医療事故
- 患者さんの不満

解決方法

- 話しやすい空気を作る
- お互いの専門職を尊重する
- 責任の所在をはっきりする
- 定期的に多くの専門家を集め会議をする

医学生として

- 医龍(医学生に興味ある題材での教育)
- 医学倫理などに、積極的に取り組む
- 他の医療専門職を理解する
- 自らの技術の向上に努力し、信頼される医師を目指す